



今年もやるぞ〜!

葉山発ゼロ・ウェイスト 楽しくへらすごみ通信
編集 ごみへらし隊 発行 葉山町環境課

葉太：葉山に生まれ、8年、好奇心いっぱいの小学生。

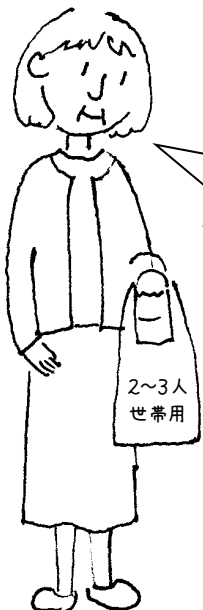
でっぴりカネン：葉山のでっぴり可燃ごみ。今年こそはでっぴり脱出!?



ほっそりカネン：でっぴり生ごみから開放されて今年もはればれと。

「半減袋」でごみ半減!

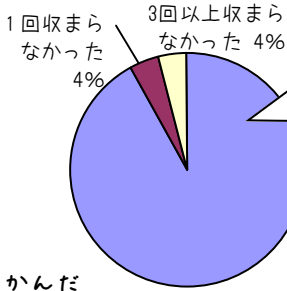
葉山町分別体験モニター事業で、92%の参加世帯がごみの半減目標を達成しました。



こんな小さなごみ袋で 足りるのね〜

2009年8月~10月の2ヶ月間、葉山町在住の101世帯が、ごみの「半減袋」(右参照)を町のモニターとして使用しました。(分別体験モニター事業)

~その結果~



すべての収集で半減袋にごみが収まった。

92%

一色さん(3人世帯)

ボク的答案用紙はこっち!



鼻をかんだ紙はこっち!

袋が小さいことで、改めて分別を見直し、ミックスペーパーなどをきちんと分けた人が多かったようです。袋に収まらなかった原因は、「来客時にはごみが増えた」の他、紙おむつやペットのトイレシートが主なものでした。

「半減袋」ってなに?

葉山町の目指す「ごみ半減」の目標(1人1日329g)に基づき、世帯人数ごとに大きさを変えた袋です。これにごみ収まれば(収集1回分)、目標達成です!



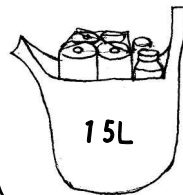
1人世帯用の袋

コンビニの袋と同じくらい



2~3人世帯用の袋

スーパーの袋より少し小さい



4人以上の世帯用の袋

スーパーの袋より少し大きい



きちんと分別するだけで、こんなにごみは減るの〜

生ごみを自分のウチで始末すれば、燃やすごみはさらに半減するんだゾ!



ほっそりカネン

町では、2026年までに「ごみ半減」(2006年度比)を目指して、2011年度から「ごみ半減袋」を指定袋として町全体で使い始める予定だそうです。

「ごみ半減袋」を体験してみたい方は、環境課窓口に行けばもらえます。(なくなり次第終了)



ボトルの
町内リポート

給食の野菜くずを土に還元!

葉山町立
長柄小学校

長柄小学校のの高橋教頭先生に話を聞いてきたワン!

長柄小学校では、校庭のすみに21器のコンポスターを設置しています。そこへ、調理の際に出た野菜のヘタや芯、皮など生ごみとされるものを投入し、学校菜園に使う堆肥にしています。できた堆肥は、子どもたちが野菜を育てている畑に使っているそうです。ちなみに伺った日の野菜くずは3.65キロでした。

生ごみの投入は、教頭先生自らが担当しています。「学校の枯れ葉を生ごみと一緒に入れて、土をかけます。そうすれば虫なんてあまりわきませんよ。」

「生ごみの処理」—ただ言葉から想像すると汚い作業ととらえがちですが、青く澄みきった冬空の下でシャベルをふるう先生の姿はとてもすがすがしいものでした。



生ごみの堆肥は栄養がたっぷりだから、できた野菜はおいしそうだワン!



↑落ち葉や土を生ごみと混ぜ合わせるのがいいみたい。



ごみへらし隊から、生ごみ処理をされている皆さんにエール!

生ごみ処理、冬を乗り切ろう!

生ごみを分解するのによく働いてくれる微生物たち。彼らは寒いのがニガテです。どうしても、夏場は活発だったのが、鈍くなってしまいます。みなさんのせいではありません。

そんな時には、**米ぬか**や**油**が有効!! 試しに投入するなり、野菜くずに混ぜて見てください。調子があがると、数日間は湯気が立ち上るくらい元気になります。米ぬかは、次の店舗などで購入できますヨ。

遠藤米店、笠原商店、亀ヶ谷商事、大門商店、椿米穀店 他

～くるくるの場合～

米ぬかをたっぷり入れて、数日間しっかり混ぜてください。油も有効です。



ちゃんと
生きてるよ～

生ごみホットライン 電話:876-1111 FAX:876-1717
役場環境課が相談のにります (内線451)

くるくるを使ってみたい方
新品でない物を数量限定でお譲りでき
ます。庭のない方にむいています。

「ごみっぺらし通信」はゼロ・ウェイストのボランティアスタッフによる広報紙です。

「ごみっぺらし通信」は、葉山町が進めるゼロ・ウェイストのボランティアスタッフ(通称「ごみへらし隊」)による町民目線の広報紙です。ただいま13名のメンバーですが、随時参加して下さる方を募集しています。お問い合わせ先:環境課(876-1111内線451)♪ごみっぺらし通信を町のホームページからご覧になれます。サイトはこちらから→http://www.town.hayama.lg.jp/topics/091104_info2.html